

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 448

事務事業名	公園新設事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	河川公園課		
課長名	浦山 弘幸	内線	426
担当者名	嶋濱 剛	内線	434

基本目標	050303	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		公園・河川の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	5	都市計画費
目	4	公園新設費
事業コード	020100	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	総合運動公園		
意図 対象をどのような状態にしたいか	若者の健全育成、高齢化社会での生涯スポーツの場として、運動公園を充実すると共に、市民のスポーツ大会、県央中核都市として組織的大会に対応できる環境を整備し、幼児の遊びや高齢者の健康増進の場として、スポーツ以外にも多くの人が利用できる施設とする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大村市総合運動公園 A=22.1haを計画する。 第1期事業 A=9.6ha ① ソフトボール場(多目的広場) 4面 ② テニスコート 14面 ③ グラウンドゴルフ場 ④ 駐車場 350台 ⑤ 広場		
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 33 年度	実施方法	直営

成果指標名	事業進捗率(第1期事業)			算定式等	実施事業費/総事業費×100	
着手前現状値	平成 25 年度	単位	%			58
完了後計画値	平成 33 年度					100

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額	27,497						63,840
	項目別進捗率	43.07%	43.07%	43.07%	43.07%	43.07%	43.07%	
用地・補償	実績・計画額	1,498,839	16,355	18,063	0	480,000	0	2,046,715
	項目別進捗率	73.23%	74.03%	74.91%	74.91%	98.37%	98.37%	98.37%
建設工事	実績・計画額	456,540	166,557	13,435	256,822	120,000	35,649	232,000
	項目別進捗率	27.42%	37.42%	38.23%	53.66%	60.86%	63.01%	76.94%
事務費等	実績・計画額	109,638	545	795	6,700	3,200	10,287	10,000
	項目別進捗率	64.68%	65.00%	65.47%	69.42%	71.31%	77.38%	83.27%
合計	実績・計画額	2,092,514	183,457	32,293	263,522	603,200	45,936	242,000
	項目別進捗率	53.04%	57.69%	58.51%	65.19%	80.48%	81.65%	87.78%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	242,526	183,457	32,293	263,522	603,200	254,596	566,000	3,945,000
国庫支出金	109,080	78,550	12,739	128,411	220,000	116,532	208,000	0
県支出金								
地方債	122,400	76,100	17,600	121,500	344,800	124,250	322,200	0
その他								
一般財源	11,046	28,807	1,954	13,611	38,400	13,814	35,800	3,945,000
② 人件費(千円)	7,110	6,424	6,697	6,791	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.79	0.78	0.88	0.87	用地取得・テニスコート整備	テニスコート整備	テニスコート整備	3.22 H28再評価
時間外勤務(時間)	416	265	245	232				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	249,636	189,881	38,990	270,313				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	継続して用地の取得及び園路の舗装を行った。 引き続き、事業地内の用地買収を行い、事業の早期完成を目指す。
事業が抱える問題・課題等	一期事業地内に民間の大型施設があり、移転交渉及び移転に相当の日数を要するため、事業完了を平成33年度までに延伸する必要があった。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	近年の健康志向の高まりと高齢化社会を迎えた今般、楽しむスポーツ施設の充実、青少年の健全育成、生涯スポーツ普及のニーズに応える体育施設の拡張整備の必要性が生じている。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	既存スポーツ施設の老朽化、スポーツ人口の増加に対する施設数が不足しているため、早急な対応が必要である。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民が自然と親しみながら自由にスポーツや憩うことができる場の提供の指数として一人当たりの都市公園面積が、大村市では目標水準の10㎡/人に対し、現状(H24末)6.7㎡/人である。1期事業完了予定の平成33年度までに一人当たりの都市公園面積を7.8㎡/人に向上させる。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	本事業には、大量の盛土を必要とするため、新幹線工事にて発生した残土を盛土に利用し、搬入コストの削減に取り組んだ。今後も、効率的な盛土材の確保を図り、コストの削減に取り組む。						
見直し	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	国庫交付金事業であり、負担割合の見直しの余地はない。 国庫交付金(施設 1/2・用地 1/3)、起債充当率(90%)						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	スポーツ人口が増加するなかで、大村市のテニス人口に対する市内コート数不足は長年の課題であり、大村市総合運動公園事業による早期のテニスコート新設を求める市民ニーズは高いため、用地取得が完了した部分のテニスコート整備を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	大村市総合運動公園の整備については、完成した施設の利用促進を図るとともに、市民のニーズに答えることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。